

地域の素材を生かして学習しています

新学期も始まって3週間が経ち、新学年の活動もようやく軌道に乗ってきました。そんな中、新型コロナウイルスの感染予防を講じながら、校外学習も始まっています。

3年生は、地本地区の水芭蕉を見学に行きました。学校運営協議会委員の佐藤正様より、「地本の水芭蕉が2万本以上あること」や「平地で咲く水芭蕉は本州ではここだけ」などのお話を聞くことができました。また、2年生も旧大出小学校や桃崎浜のはまなすの丘を見学しました。天気がよく海の向こうまで見渡せました。

きのと小学校では、地域の「もの」「人」「コト」を生かして、地域の魅力やよさに触れられるように今後も活動していきます。

2年生



旧大出小学校のモニュメント前でポーズ。何かに似ているポーズですね。



はまなすの丘からきれいな海が見渡せます。

3年生



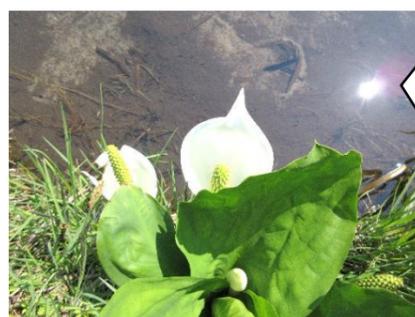
佐藤さんからお話を伺いました。



よく見て水芭蕉をスケッチしています。



お世話になる方につきありがとうございます。



この水芭蕉は地域の宝物ですね。

学校の畑準備できました

学校の畑では、低学年を中心に様々な野菜を育てます。しかし、耕したり、マルチをかけたりすることが学校職員でなかなか進めることができません。今回は、大出の新村さんからご協力いただき準備を進めることができました。地域の方のご協力に感謝いたします



縦割り班活動を始めました

4月14日、今年度最初の縦割り班活動（なかよし班活動）を行いました。活動時間は15分程度と短い時間でしたが、自己紹介をしたり、簡単な遊びをしたり、異学年交流ができました。6年生が、上手に下学年のお世話しながら活動を進めることができました。



第1回学校運営協議会を開催しました

4月20日（水）、第1回学校運営協議会を実施しました。初めに、今年度の会長に渡邊収さん（きのと地区連合区長会副会長）、副会長に朝妻真美さん（ひだまりこども園園長）が選出されました。

また、校長より学校経営の基本方針が提案され、全会一致で承認されました。委員からは、「学校が目指す子ども像『自分もみんな（地域）も大切に作る子』の具現化に向け、もっと地域に情報発信をしていくことが大切である」「あいさつ声かけ運動の日に地域も参加できたらよい」といったご意見を聞くことができました。今年度の委員の皆さんは右の通りです。



No.	氏名	所属・役職等
1	渡邊 収	区長会副会長
2	朝妻 真美	ひだまりこども園園長
3	久世 俊介	きのと山桜の会・胎内市商工会
4	佐藤 正	イバラトミヨ水芭蕉の会代表
5	河内 篤	社会福祉協議会
6	菅原 卓也	中条町商工会
7	竹内こずえ	きのと小PTA会長
8	藤木 繁一	サポーターズ協議会会長
9	佐久間義久	県少年自然の家所長
10	本間由里子	民生委員
11	森田寿美子	きのと小地域コーディネーター
12	若月 晃子	きのと小地域コーディネーター
13	鈴木 真史	きのと小学校長

用水路やため池に注意を

ゴールデンウィークにかけて、田植え作業が本格化してきます。それに伴い、用水路の水量も多くなっています。過去に下越管内では、児童がため池に落ちて命を落とす事案が発生しています。楽しいゴールデンウィークを過ごせるように、交通安全に気を付けることはもちろんですが、水難事故に遭わないよう各ご家庭でも注意喚起をお願いします。

また、長期休暇同様ゴールデンウィーク中の事故などありましたら、胎内市役所 43-6111（学校教育課）へ連絡を入れてください。



新しい職員を紹介します

4月18日（月）より、スクールサポートスタッフとして、小野春菜さんが職員として加わりました。よろしくお祈いします。



